

## 令和5年度 半田市総合教育会議 会議録

|            |  |
|------------|--|
| 開催日        | 令和5年9月28日(木)   |
| 開催場所       | 半田市役所 庁議室  |
| 構成委員       | 半田市長 久世孝宏<br>教育長 鈴川慶光      教育委員 桂 優子<br>教育委員 新美 大      教育委員 久米宏和<br>教育委員 正村 日登美      教育委員 堀崎隆資   |
| 構成委員以外の出席者 | 教育部長 森田知幸      学校教育課長 内藤 誠<br>主任指導主事 鈴木康弘      学校給食センター所長 榊原秀夫<br>生涯学習課長 青木美希      スポーツ課長 加藤計志<br>スポーツ課主幹 長坂壮浩<br>企画部長 山田 宰      企画課長 中村省吾 |
| 事務局        | 学校教育課主査 羽根 広   |
| 協議事項       | 「幸せになるための教育を実現する会議」による提言を受けての学校での取組について  |

〈 開会 14時30分 〉

|          |  |
|----------|--|
| 趣旨説明     | <p>(学校教育課主査)</p> <p>総合教育会議の目的など確認する。</p> <p>総合教育会議は、平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の改正により、その設置が各自治体に義務付けられ始まった。</p> <p>教育委員会は、教育に関する事務を処理するために設けられた合議制の執行機関で、市長部局から独立して設置されているが、教育委員会が事務を処理するための予算編成権や条例化などは、市長部局が権限を有している。</p> <p>それぞれ重要な役割を担う執行機関同士が対等な立場で様々な議題について調整・協議することで、「教育委員会と市長部局との連携強化」を達成し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るものである。</p> |
| 1 市長あいさつ | <p>(市長)</p> <p>日頃は、半田市、特に教育行政においてご理解とご協力をいただきありがとうございます。</p> <p>市長になって2年経つが、市長と教育行政の関わりについては、別の組織で</p>   |

|                  |  |
|------------------|--|
|                  | <p>もあり、どこまで関わっていいものかという点で難しさを感じている。</p> <p>そういった中で、この総合教育会議で教育長、教育委員のみなさまと協議し、意見交換できることは非常にありがたい。相互理解が進む有効な会議体であると感じている。その相互理解により、連携もより一層進むと期待するので、未来に繋がる有意義な時間にしたい。</p>   |
| <p>2 教育長あいさつ</p> | <p>(教育長)</p> <p>本日は、このような会を設けていただきありがとうございます。</p> <p>市長におかれては、教育と子育てを重要政策に掲げていただき、校舎の安全対策、給食センターや公民館の建て替え、音楽を始めとした文化活動やスポーツ活動に係る事業も後押しいただくなど、様々な面で教育委員会に対して配慮いただいていることは本当に感謝申し上げます。</p> <p>学校においては、今年度から議題にもある“幸せ”をキーワードにして各学校が取組を進めている。ハッピーウィークだけでなく、年間を通して幸せというキーワードが少しずつ、様々な場面で出てくる機会が増えてきており嬉しく思う。</p> <p>子どもたちが幸せについて考えて、将来幸せな生活が送れること目指して、夢や希望、目標を持って学校生活が送れるよう今後も地域の方々と子どもたちを支えていくとともに、子どもたちが、学校が好き、地域が好き、半田が好きという思いが持てるようみんなで目指していきたい。</p> |
| <p>3 協議事項</p>    | <p>(市長)</p> <p>議題に入る。まず、企画課から「幸せになるための教育を実現する会議」の活動状況について報告をお願いします。</p> <p>(企画課長)</p> <p>昨年9月末にこの総合教育会議で提言内容を説明し、10月に正式に提言させていただいた。その後、令和4年度に2回、令和5年度に3回、会議を開催し、教育委員会から学校での取組状況を報告いただいている。また、会議の委員と教育委員のみなさまとの懇談の機会も設けさせてもらった。</p> <p>委員からは、学校での取組や、工藤氏をお招きした教育講演会など、非常に高い評価をいただいている。今後も教育委員会、教育現場、児童生徒の主体的な取組に期待し、見守っていききたいと考えている。また教育の実践において必要な予算措置等あれば、協議していきたい。</p> <p>(市長)</p> <p>続いて、学校現場の取組について報告をお願いします。</p>                               |

(主任指導主事)

まず、各校の教育目標を整理し、そこに幸せになるための教育を位置づけた。目指す子ども像に位置付けた学校が3校、経営方針に位置付けた学校が6校、重点努力目標に位置付けた学校が8校、残りの学校は、今年度、全職員で共通認識を持ち、年度末に改めて整理して位置付けることとしている。

板山小学校では、幸せプロジェクトとして授業で取り組んだことを、市長にも聞いてもらい、関係課へ提案した。ほかの学校でも工夫しながら取組を実践している。

教育委員会としては、強化週間を設け、その名称を児童生徒に公募し、児童生徒による投票により「半田ハッピーウィーク」と決定した。この半田ハッピーウィークに合わせて、現在、各校で“幸せ”をキーワードにした公開授業等が行われている。

半田市 PTA 連絡協議会の研修でも“幸せ”をキーワードにして研修を実施される。

また、各教員には、幸せになるための教育について実践したときは、板書のデータを保存してほしいと依頼している。例えば、ある中学校では2年生が道徳の授業で幸せについての話し合いを行い、ある小学校では、2年生の国語の授業で言われたら嬉しい言葉を出し合うなどの取組が進められている。8月末時点ではまだ報告件数は少ないが、ハッピーウィーク期間で増えることを期待している。

(市長)

それぞれの報告を聞いて、質問や意見などあるか。

(桂委員)

教育目標はどのような過程で作成されるのか。また、現場の先生方に周知されているのか。

(主任指導主事)

作成過程は学校によるが、校長が案を作成してほかの教員の意見を聞いたり、みんなで分担して考えたりすることが多い。最終的には校長が定め、各校の学校運営協議会でも承認をいただく。学校経営案に包含されるが、学校経営案はすべての教員で共有する。

(堀崎委員)

板書のデータはどのように提出するのか。

(主任指導主事)

タブレットで写真を撮って、それをフォルダへ提出する。手間はかからない。

(久米委員)

学校によりばらつきや温度差があるように感じるが、教育委員会としてはどう捉えているか。板書データを提出いただいている学校にも偏りがあるのではないか。

(主任指導主事)

温度差があるのは承知しているが、提言においても学校主体で取り組む趣旨だと理解しており、学校にもそのように伝えているため、今の時点ではやむを得ないと感じている。板書データの提出数は、現時点では学校間の差はあるが、先生方には1年間で1実践以上はあげてくださいと依頼しているので、今後、どの学校からも増えてくることを期待している。

(市長)

おそらく温度差があるのは事実だと思うが、会議体の提言としても、押し付けるようなことは本意としていない。それによって幸せの本質を考えられなくなることを危惧している。幸せは形を決められて取り組むことではなく、主体的に考えて取り組んでほしいという意図で提言している。

(正村委員)

昨年の提言から1年間、幸せというテーマを考えてきた中で、いくつかのキーワードが出てくるのではないかと感じた。提出された板書データから重なるキーワードを読み取り、次年度はそのキーワードを元に幸せを深めるとわかりやすく、現場でも取組やすいのではないだろうか。

例えば、『笑顔』というキーワードがあったらいいと思う。学校訪問時に、先生方の笑顔が少ないように感じた。笑っている大人に子どもは寄ると思う。

一方、特に分校の子どもたちなど様々な事情を抱えている子の中には、将来の怖さが先に出てきてしまい、幸せを考えることが辛い子もいると思うので、そのことは知っておいてほしい。

(市長)

幸せのキーワードを提案するのは、例えば会議体からなのか、教育委員会からなのか、どのような方法がいいと思うか。

(正村委員)

一番効果的だと思うのは、学校に限らず、半田市全体として取り組むこと。市全体で取り組むことができれば、半田市に幸せが早く訪れるのではなかと思う。

(市長)

こうして別の視点の発想が出てくることも面白い。提言では、ある程度は先生方に主体的に取り組んでもらいたいとしているが、会議体にはこの意見を伝えさせていただく。

(新美委員)

板書では捉えきれないので数値としては表しにくいですが、授業だけでなく、朝の会や帰りの会などで投げかけてもいい。

教育長は、学校訪問の総括の際、先生方に“幸せ”について考えさせ、先生同士で語り合う機会を設けており、それを聞いていると千差万別の幸せの形があり、面白い取組だと感じる。

今回の報告を聞いて、市長の思いは何割達成されたと考えるか。

(市長)

板書データは少ないとは感じるが、今日の報告に表れていない普段の声掛けや板書に残らない授業もあると思うので、達成度合いは判断しかねる。学校の温度差についても思うところはあるが、会議体としても1年間は見守る方針であり、今後、半田ハッピーウィークも始まるので、その点は期待したい。

また、子どもたちが幸せになるためには、先生たちにも幸せを感じてやってほしい。その前提として、考える力が大事だと会議体でも意見があった中で、その点を重視した実践をされている工藤先生の講演会が、先生方に良い評判で、また呼んでほしいという声が多いと聞けて嬉しい。

(新美委員)

いくつかの学校の校長先生と話す機会がある中で感じるのは、幸せのために何にどう取り組んだらいいのかと戸惑っている校長先生が多いということ。それがこの結果に表れているのかもしれない。今年は見守っていくことに異論はないが、このままだと、温度差がある今年の取組が基準となってしまうのではないかという危機感はある。

(市長)

この件も含めて、教育委員会として、こういった予算があればもっと取組が進

む、こういった予算があれば先生方の負担が軽減され、例えば幸せについても主体的に考える時間が生まれるといった要望はあるか。

(新美委員)

部活動改革を実施することは、先生方の負担が軽くなると思うので、そこへの関係予算は確保してほしい。予算があることで、土日の活動を受け入れる各スポーツクラブへの移行もスムーズに進むと思う。

また、工藤先生の講演会は、保護者への効果的な言葉がけなど、もう一度呼んでもらえば伝えられると工藤先生が仰っていたこともあり、先生方の評判も良いのであれば、今年度中の予算確保をお願いしたい。やはり保護者対応が先生方の大きな困りごとの一つではないかと感じており、なんとかできるといい。

(市長)

市全体の予算の中でのことでもあり、確実な約束はできないが、現場からの声として前向きに考えたい。

(桂委員)

工藤先生の講演会については、無料で見られる動画がいくつもインターネットに公開されていたり、出版されている本もあるので、これらを上手く活用できると良いと思う。また、幸せ教育については、授業を構想される先生方が子どもたちと一緒にやりたいなど、わくわく楽しんで取り組めると、その想いや雰囲気子どもたちにも伝わると思うので、そのための働きかけが検討できればと思う。

(市長)

自発的に考えて取組を進めてほしいと思っている中で、いいアイデアをいただけたと思う。

(市長)

教育大綱について意見を伺いたい。首長が教育委員会と協議し策定するものだが、ここに「幸せ教育」のキーワードを盛り込みたい。ただ、中間見直しが令和7年度とされているため、前倒したいと考えている。これらのことについてどう考えるか意見が聞きたい。

(新美委員)

教育大綱は、市長が策定するものであり、市長が交代したのであれば、見直し時期を待たずに作り直すべきではないか。

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>(企画部長)</p> <p>例えば、市の総合計画は、市長が交代しても内容は変えないこととしている。それは、市長が変わるたびに市の方向性が変わるのとは適当ではないという考えがあるが、教育大綱においては市長交代の際に新市長の意向を反映して変更してもよいと思う。</p> <p>(教育部長)</p> <p>期間の法的な定めはない。市長の任期である4年としたり、国の教育振興基本計画に合わせて5年としたりしている市町村もある。</p> <p>(堀崎委員)</p> <p>私も新美委員の意見に賛同する。前倒して構わないと考える。教育は市長の思いもあって進む。</p> <p>(市長)</p> <p>肯定的な意見をいただいたので、前向きに進めたい。変える際は、この場で改めて相談させていただく。</p>   |
| 4 その他 | <p>(堀崎委員)</p> <p>学校間の温度差の件について、校長会などの場で、市長自らが校長へ幸せ教育に対する熱い思いを語る場があってもいいのではないかと。</p> <p>(教育長)</p> <p>校長会でも構わないが、市長と校長、教育委員との懇談会を開催している市町もあり、やり方はいろいろある。</p> <p>(市長)</p> <p>教育行政にどこまで意見していいのか悩んでいるが、そういった場を設けていただければ、ぜひお願いしたく、また相談させていただく。</p> <p>最後になるが、教育長から一言頂戴したい。</p> <p>(教育長)</p> <p>限られた時間であったが、活発な意見交換により相互理解が進んだと感じる。学校間の温度差については、やらされていると思うと進まないだろうし、働きかけ方のバランスが非常に難しい。いろいろな場面で種まきをしているつもりだが、今</p> |

|  |                              |
|--|------------------------------|
|  | <p>後も地道に続け、時間をかけて浸透させたい。</p> |
|--|------------------------------|

また、正村委員も仰っていただいたように、学校だけでなく、保護者や地域の方も一緒に、市民全体で取り組むことが大切だと考える。学校現場においては、まずは先生方の意識改革から進めていきたい。

〈 閉会 15時30分 〉